

渥美半島野生イノシシ捕獲根絶協議会（第3回） 会議録

1 日時

令和元年7月16日（火） 午前10時から12時まで

2 場所

東三河総合庁舎 301 会議室

3 出席者

渥美半島野生イノシシ捕獲根絶協議会 構成員

4 会議内容

(1) 開会

(2) あいさつ（会長）

野生イノシシの豚コレラ感染状況について、13日に長野県で感染の事例が報告され、これまで岐阜、愛知、三重、福井、長野の5県で野生イノシシの豚コレラ感染が確認された。愛知県では尾張北西部（犬山、春日井、瀬戸、豊田）の4市で36例の感染事例が確認されている。

なお、養豚農家では、6日に長久手市内の養豚場で13例目の感染が確認されている。一方、渥美半島では、野生イノシシの感染は確認されていないが、養豚産業への感染リスク低減のため、早期に捕獲根絶を進めていきたい。

本日の協議会では、各構成員の方と、野生イノシシの捕獲状況の確認とともに根絶に向けた各取組について意見交換を行いたい。また、前回鈴木教授から指摘いただいた、効果的な捕獲に向けたイノシシの年齢確認の重要性について、兵庫県立大学の横山教授から、ご講義とご指導をいただくこととなっている。

(3) 議事（議長：会長）

① イノシシ捕獲に係る取組状況について

- 資料1 野生イノシシ捕獲状況について事務局から説明。

【質疑・意見等】

（事務局）豊橋市はイノシシの個体数が少ない時期なのか

（猟友会）例年、この時期は少ない。これから冬にかけて多くなるため、これから増加すると考えられる。

（事務局）田原市についてはどうか

（猟友会）田原市では幼獣が多く捕獲されているため、捕獲数が増加している。

（事務局）大山周辺に新たな檻を追加する余地はあるか。

（猟友会）大山周辺については全域がカバー出来ている。

- (猟友会) くくりわなについて、田原市は熊が生息していない地域でもあり、現在基準となっている 12cm 以上のわなの使用を検討できないか。
- (事務局) 検討するとして 15cm で良いのか。
- (猟友会) まず 15cm から試したい。
- (有識者) 岐阜県では金華山で捕獲を行っているが、観光客がわなを設置している場所まで入る可能性があり、わなの外し方の表示等を行っている。そのような安全対策も必要である。
- (事務局) イノシシの目撃情報について、どの様に集めると良いか。また現状の取組状況について伺いたい。
- (田原市) 現状では P R していない。集まる情報としては、被害情報の方が多い
- (J A) 情報収集の方法については、県で統一していただきたい。
- (豊橋市) 従来から H P で外来種の目撃情報の提供をお願いしていた。その一部を変更し、イノシシの情報も集めることとした。
- (有識者) 誤情報も集まり、データの質が低下するため、依頼する相手を限定した方が良い。
- (事務局) 豊橋市に設置されているわなの数はどうか
- (猟友会) 箱わな 40 基。くくりわなは最大 200 基である。
- (事務局) 田原市のワナはどれくらい増加したのか。
- (猟友会) 箱わな 34 基、くくりわな 5 基である。
- (事務局) 蔵王山周辺の設置状況はどうか
- (猟友会) 蔵王山エリア全体のイノシシ生息頭数は 10 頭程度 (ほとんどオス) と推定しており、わなを設置しても捕獲につながらないと考えられる
- (事務局) 表浜海岸はどうか
- (猟友会) 幼獣の目撃情報はある。瓜等の農業残渣が多いことが原因ではないか。また、砂浜での目撃情報もある。
- (田原市) 表浜がイノシシの流入経路になっている可能性が高く、集中的に流入防止対策の取組を進めてもらいたい。
- (猟友会) ワクチン散布エリアをもっと広げるべきではないか
- (事務局) ワクチンの散布については、現在対象エリアとして豚コレラ感染個体が確認された地域周辺に広げる準備を進めているところである。また血液検査についても、豊田市等では増加してきている。
- (猟友会) 狩猟者登録も始まるため、本年度の狩猟禁止区域をどうするか、早く決定していただきたい。
- (事務局) 前回対応が後手になっていたところがあったが、ご指摘された事項について、検討していきたい。

② イノシシ捕獲に係る今後の対応について

- ・ 資料2 生息状況調査について事務局より説明。

【意見等】

(猟友会) カメラ設置日について、猟友会には連絡がなかった。数日間捕獲されなかった日もあった事から、事前に連絡をすべきではないか
(事務局) 今後は情報を提供させていただきたい。

③ イノシシの年齢査定について

- ・ 有識者から説明。

【質疑・意見等】

(事務局) 個体により乳歯のサイズに差はあるのか

(有識者) 歯の大きさは固定的であり、栄養状態によっても個体差はほとんどない。

(猟友会) 写真では判別が難しいと思うがどうか

(有識者) スケールを同時に撮影する事で判別は可能である。

(4) その他

(猟友会) 血液検体について、提供した検体で検査できなかったものがあつたがどうしてか。

(事務局) 血液が凝固しているとの事である。採血管に1/2程度で採取していただくとうい。

次回協議会日程については、8月中旬を予定している。

以上